

トンボの暮らしと環境

どんなトンボが暮らしているかを調べることで、水辺や周辺の陸地などの環境の豊かさを知ることができます。環境を知るものさしとなる生物を「環境指標生物」といいます。

生きものの多様性の豊かさを示す



トンボは、幼虫、成虫ともに肉食性の昆虫です。水中と陸地の両方の生物多様性が豊かでないと暮らせません。

環境の多様性の豊かさを示す



トンボが卵から幼虫へ、幼虫から成虫へ、そしてまた産卵するまで生き続けるためには、水辺から陸地まで多様な環境が必要です。逃げたり隠れたりできる場所や、休息する場所などは、トンボの種類によって好みが変わります。たくさんの種類のトンボが暮らせる場所は、多様で複雑な豊かな環境であるといえます。

トンボさがしスポット

水色の点線で囲んだ場所は、トンボの仲間がよく観察できる場所です。



- こもれびの池
- こもれびの里の池や水田
- トンボの湿地
- 花木園の菖蒲田



- トンボがいるのはこんなところ
- 植物のある池や湿地
 - 池や湿地に近い林の中
 - 木の上の高いところ
 - ※ 種によって好きな場所が違ふよ

公園のきまり

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまでじっと待ちましょう。

夏のトンボ セルフガイド

夏は最も多くのトンボを観察できる季節。トンボが暮らしやすい環境について公園の水辺を見ながら、一緒に考えてみよう。



夏にみられるトンボの仲間

昭和記念公園で夏によく見られるトンボの仲間について、特徴と生態を解説します。

希少性の表記について
レッドリストには国や地域の「絶滅のおそれのある野生生物種」がまとめられています。ここでは東京都のレッドリストの種を「指定地域+希少性のランク」で示しました。

【夏の代表種！】

チョウトンボ

幅が広い後ろ翅



角度によっていろいろな色に見える翅

東京都 本土部 準絶滅危惧 (NT)
多摩部 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

- 都内で減少している。
- 水中から陸地までたくさんの植物がある環境を好む。
- 花木園の菖蒲田などでチョウのようにゆるやかに飛行したり、上空で舞う様子が観察できる。

【水辺の人気者】

ギンヤンマ

第1、第2節が水色



胸に黒い筋模様がない

- 同種のギンヤンマをはじめ、トンボを捕食することもある。
- 開けた明るい水辺を好む。
- 水草に産卵する(右写真)。こもれびの里のため池で観察できる。

【夏の定番！青いトンボ2種】

シオカラトンボ

顔が白っぽい



- 多く見られるトンボの一種。
- 園内の水辺で最も頻繁に見られる。

【猩々色の真っ赤なトンボ】

ショウジョウトンボ

- 区部全域で確認。
- 暑さに強く、猛暑日でも見られる。
- こもれびの里の支柱の上にとまっている姿がよく目立つ。



体は猩々色や猩々緋などと言われる鮮やかな赤色。

【豊かな緑地の象徴】

キイトトンボ

東京都 絶滅危惧 IB 類 (EN)

- 多摩地区でも減少していて危機的な状況。
- 一部地域に集中的に多く見られる。
- 植生豊かな環境を好む。
- トンボの湿地では頻繁に観察することができ、希少な生息地である。



体は黄色く他のイトトンボに比べて太い

オオシオカラトンボ

顔が黒い



- 多く見られシオカラトンボと間違えやすい。
- 特にトンボの湿地で頻繁にみられる。

シオカラトンボと比べて体は太く、青みも濃い

※このシートでは、オスのみを紹介しています。